



【学校教育目標】

笑顔いっぱい

Treasure Island



～気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる～

長崎市立高島小中学校 校長 宇土 衛

小学校音楽会で高島小が大活躍！

11月8日(水)長崎ブリックホールで小学校音楽会が行われ、高島小の子どもたちが出場しました。コロナ禍のため2年間は中止、昨年度は保護者の参観なしでの開催でしたが、今年度は4年ぶりに全ての規制をなくしての開催となりました。

高島小の曲目は、「クラッピングファンタジー第7番 楽しいマーチ」と「Believe」。この日に向けて9月から練習に励んできました。小学校の教室や体育館では、子どもたちの伸びやかな歌声を聞くことができていましたが、本番は、教室や体育館より何倍も大きな長崎市最大のホールです。子どもたちは、プロのミュージシャンや役者が活躍する舞台に立つのです。一生に一度の経験かもしれません。また高島小は極少数です。緊張で歌声が届くのか？と心配もありましたが、子どもたちは臆することなく、練習の成果をしっかりと発揮してくれました。

ある小学校の校長先生から「高島小の歌を聞いて、涙している保護者がいたよ。」と教えていただきました。体調不良で全員参加とはなりませんでしたが、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれた子どもたちを誇りに思います。



写真は全員参加の合同文化祭での1枚です。

楽しさいっぱい幼小中合同文化祭

毎年行われている幼小中合同文化祭が11月12日(日)に高島地域センターふれあいホールで開催されました。会のスタートは、幼小中全員での「高島はいいよね」の合唱でした。これから始まる文化祭に心ワクワク！そんな歌声でした。その後小学生は「高島太鼓」「小音会で発表した2曲」を披露しました。中学生は中学校連合音楽会で演奏した「リコーダー奏2曲」と「姫大蛇」を発表する予定でしたが、体調不良で全員参加とはならず、「姫大蛇」と「リコーダー奏」は11月15日(水)14:30～地域センターにて披露することとなりました。

この幼小中合同文化祭は、それぞれの校種のこれまでの取組みを発表することが大きな目的ですが、それと同じくらい「幼小中の交流を深めること」も大変貴重なのだと改めて感じました。

文化祭が終わった後に、子どもたちと話をしましたが、どの子ども達成感と自信に満ち溢れていました。

